



誰もが発言しやすい  
オープンな雰囲気醸成し、  
仙台を元気にする活動を  
展開していきます。

Closeup Interview

クローズアップインタビュー

守川 雷太氏

もりかわ らいた

### 仙台商工会議所青年部 令和5年度会長

#### プロフィール

1980年4月23日生まれ。栃木県出身。慶應義塾大学経済学部を卒業後、トヨタ自動車㈱へ入社。2014年4月、ネットヨタ仙台㈱入社。取締役経営企画部長、常務取締役を経て、2018年6月に専務取締役就任。仙台商工会議所青年部には、2014年11月に入会。専務理事や副会長などを歴任し、2023年4月、仙台商工会議所青年部令和5年度会長に就任。

#### 【概要】

#### 仙台商工会議所青年部

令和5年度会長 守川 雷太(ネットヨタ仙台㈱専務取締役)  
事業内容 45歳までの青年経済人が、自企業と地域経済の発展に寄与することを目的に、独自事業の企画・運営、会員限定のセミナーやワークショップ、全国の商工会議所青年部と連携したさまざまな活動を行う。2023年4月1日現在の会員数は222人。

所在地 仙台市青葉区本町2-16-12  
TEL 022-265-8127(仙台商工会議所青年部事務局)  
HP <https://www.sendai-yeg.jp>

―はじめに、近年の仙台商工会議所青年部(以下、仙台YEG)の活動についてご紹介ください。

仙台YEGは、毎年度会長や各委員会のメンバーが入れ替わって活動を行う単年度制を採用していて、年度ごとに設定されるスローガンに基づき、さまざまな活動を実施してきました。例えばコロナ禍では、医療従事者の方々に感謝の思いを伝えようと50におよぶサービスを提供した「ありがとうプロジェクトin仙台」や、苦しい状況にある飲食店を応援するため、クラウドファンディング「愛する店ドットコム仙台」を実施しました。

また、2019年度からは政策提言活動を行っています。2022年度は、私たち青年経済人が地域に「誇り」をもち、自慢できるまちにするためには何が必要かを議論して、三つの項目にまとめました。一つ目は「学生の地元定着」に関する提言です。2016年から継続して取り組んできた、YEG会員と学生との交流会をはじめとした学生向け事業を通じて得た知見を基に、学生が求めていることや、地元企業に定着してもらうために不足していることを浮き彫りにし、経済界と仙台市が今後目指していくべき道筋について提言しました。二つ目は「民間主体の体験型観光ツアー」を提案したもので、地元の人たちによる小規模ガイドツアーの普及推進と支援についてまとめた内容になっています。三つ目が「伊達の一本締め条例の制



写真上:2023年度の仙台YEG役員を選任する臨時会員総会で、所信表明をする守川会長(2022年10月27日)。本年度は新たにビジョン検討委員会を設置し、令和元年度に策定した仙台YEGビジョンの今後の在り方等を検証するとともに、5つの行動指針との関連性を意識した事業を展開していく。



写真下:  
令和5年度  
仙台YEGスローガン

弊社の経営理念は、「従業員の幸福と社会公共の福祉に貢献すること」であり、この使命達成に向けた原動力は、「従業員が心身共に健康であること」と考えています。そこで、一人一人が能力を発揮して、笑顔でいきいきと活躍し続けられるように、会社として従業員の心と身体の健康の維持、増進をサポートしています。取り組みの結果、健康経営優良法人にも認定されました。以前は、社内駅伝大会やスポーツ大会なども開催していましたが、コロナの影響もあり、現在は1日8000歩を目標に、従業員一人一人がウォーキングに取り組んでいます。それと同時に、健康づくりに関する情報提供を行ったり、病気に関するセミナーを開催したりするなど、意識の向上にも努めています。

## Closeup Interview

一人一人の活躍が  
全体に良い刺激を与え、  
活動の原動力になっています。

― 守川会長は、本業で仙台YEGメンバーと連携したことはありますか。

弊社は自動車の販売・点検などを行っています。シヨールームでお客様さまに出しするコーヒーに、仙台YEGでつながった方の商品を採用していますし、染色業を営む方と連携してオリジナルマスクを製作したこともあります。また震災復興の一助になればと、飲料品を製造するメンバーと共に、甚大な被害を受けた巨理郡山元町の農業再生を目的として栽培された、レッドカーラントと呼ばれる果実を使ったオリジナルサイダーをつくったこともあります。仙台YEGに入っていないけれど、このような連携のアイデアは生まれ

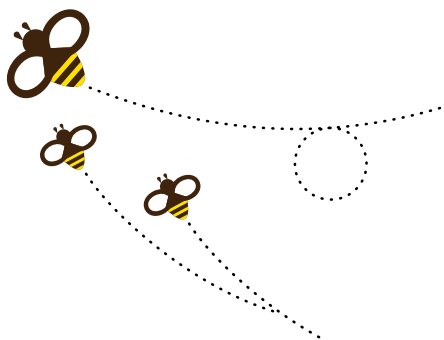
てなかったと思いますし、異業種の方と一緒に仕事をする楽しさを実感することもできました。

― 最後に、2023年度のスローガン「発せよ！〜わたしの意志、みんなの力〜」に込めた守川会長の思いをお聞かせください。

トヨタ自動車時代に、先輩から言われた「会議に出席しても、何も発言しないのは参加していないのと同じだ」という言葉がずっと心に残っていて、仙台YEGの会議でも、何か発言するように心がけてきました。それは「その意見に賛成です」でも、「よく分かりません」でも良いのです。さまざまなアイデアや意見を持った素晴らしい方々が集まっている組織なので、遠慮することなく自身の意志を「発して」もらい、それをまとめ上げ、みんなで力を合わせて取り組んでもらいたい、そんな思いを込めています。

― 昨年は仙台YEG創立20周年の記念事業を開催し、一つの大きな節目を迎えることができました。本年度は、諸先輩方の思いを引き継ぎつつ、次の20年へと新たな一歩を踏み出す年となります。「YEGの活動をがんばることが、本業を大事にするにつながる」という私自身の経験を、他のメンバーにも実感してもらえような1年にしていきたいと思っています。

より良い環境をめざす。



青葉環境保全 **AOBA**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL 022(286)3161(代)